



7 7
 2024
 重力
 曲



♂ムジナ
♀マミ

六畳位の部屋。出入口（ドアか襖）が一つと、押し入れと天袋がある。

シングルベッド、床に敷き布団、座卓、クローゼット、テレビ等が置かれてる。

全体的に散らかっている。床に畳んでいない洗濯物なども落ちてる。どこかに仕送りの段ボールが置かれている。

そして水槽がある。中には水は入っていないくて、砂が敷きあり、小さな家の様なものがある。ハリネズミが飼えるくらいのサイズ感のもの。

①客入れ時

ベッドでマミとムジナが寝ている。マミは寝相が悪い。

どちらかのスマートフォン（以降スマホ）からラジオが流れている。

途中、ムジナはマミにベッドから落とされてしまう。

ムジナ、どこかに置いてあった電気ケトルのスイッチを入れ、部屋を出る。マミを起こさないように静かに行動する。

マグカップとコーヒーのドリッパパックを持って戻ってきて、座卓でコーヒーを入れて飲む。

①

マミが起きる。（が、ほとんど寝ぼけている）

マミ おはよ、

ムジナ おはよ

マミ 何時

ムジナ 6時

マミ ……え、夜？…あ、朝か、

ムジナ 解んない

マミ ……は？、

間

ムジナ ……コーヒー飲む？

マミ ……（首振る）

間

マミ うああ、プリン食べたい、

ムジナ ……

マミ くう、、ああ、、プリン食べたい、

ムジナ、プリンとりに部屋から出てく。

マミ ありがとうございます、

ママ、ラジオを止め、また寝転がる。ムジナ、プリンとスプーンを持って戻ってくる。

ママ　なんで起きてんの、
ムジナ　なんか。はい（プリンをベッドの近くに置く。）
ママ　：

間

ムジナ　：何時頃から行こっか、

ママ　：なに、

ムジナ　いや、動物園、

ママ　え、行くの？

ムジナ　あ、行かない？

ママ　：

ムジナ　：プリン食べないの？

ママ　：（首振る）：え、何時に行くの？

ムジナ　ああ、何時でも、：全然、昼ごろからでも、

ママ　：

ムジナ　まあ本当は朝からのがいいけど、まあでも全然、

ママ　何が？

ムジナ　、何？

ママ　何で朝のがいいの？

ムジナ　あ、活発だから。動きが。朝からのがいい動きするよ。

ママ　：

ムジナ　あ、動物のね。俺のじゃないよ、

ママ　：

ムジナ　ママはいい動きできないでしょ、朝は：

ママ　：

ムジナ　リスの森とかさ、いつもみんな寝てんじゃん。朝行くと皆めっちゃ動いてっから。木の実埋めてたりすんの。

ママ　あそう、

ムジナ　埋めて貯蔵しとくじゃん。：でも埋めた場所忘れちゃうんだって。でもそれが時間立って、成長して、森になったりするんだって。、やばくない？

ママ　：：：ごめん取り敢えず、寝ていい？一旦、

ムジナ　あ、どうぞ、

ママ　：（目閉じる）

ムジナ　：：：ごめん、何時に起きるかだけ決めない？

ママ　適当に起きるよ、

ムジナ　寝すぎちゃうかもだから

ママ　：（面倒くさそうに）九時に起きるよ、

ムジナ　や、もつとお昼くらいでいいよ、

ママ　何時でもいいよ、

ムジナ　一時でいい？

ママ　ん、

ムジナ　一時で平気？

ママ　ん！ん！って言ったじゃん

ムジナ　わかった、：：：プリン食べないの？

ママ　食べるよ！、置いといてよ、

ムジナ　や、温くなっちゃうから、

ママ　ほつといてよ！なんか、がつがつ来ないで。頭痛い

ムジナ　：

間。

ムジナ、軽く部屋の片づけを始める。ゴミ箱から満杯のゴミ袋を引き抜く。なんとなく中を眺める。二人の生活の痕跡が地層のよう詰まってる。

ゴミ袋を部屋の外へ持っていく。流れでプリンも片づける。

ムジナ、部屋の外で何やらがちゃがちゃ物音を立てる。ママはそれがうるさくてもぞもぞ動く。

ムジナ、かなり大きめの物音を立ててしまう。マミ、跳ね起きて部屋の外に向けてキレる。

マミ 何やってんのっ、

ムジナ (声だけ)、や、掃除っていうか、

マミ なんで今やんの、

ムジナ ごめん、

マミ いつもしないじゃんそんなこと、

ムジナ …、

ムジナ、部屋に戻ってくる。マミ、ベッドにもどり寝っ転がる。

マミ イラッイラする、もー…、

ムジナ …や(笑)

マミ 寝かせてよー、

ムジナ や、別に悪いことしてた訳じゃないんだからさあ、なんか、

マミ いや、普通に考えて、

ムジナ 気分悪いわあ、

マミ は？いや、私寝てる横でそんな、ごちやごちやごちや

ムジナ 静かにやってたじゃん、それは、

マミ いやめっちゃうるさかったから、折角久しぶりの休みで、

ムジナ いや、

マミ ゆっくりしたいのにこっちは、ムジナくんは毎日休みみたい
なもんだからいいけど、

ムジナ だから、ごめんだけどそれは、

マミ …プリンないしっ、

ムジナ だ、温くなるって言ってんじゃん、(プリン取りに行く)

マミ ほっというよそんな、

ムジナ だからごめんだけど、悪気があった訳じゃないんだから、

普通に言えればいいじゃんやめてって、なんで一々、バー

ンって言うの？そんな、

マミ …そんな風に言っていないから

ムジナ 言ってるじゃんっバーンって(戻ってきてプリンを置いて)、普通に、やめてねって、優しく言えば止めるのにそ

んな、

マミ 普通に言ったじゃん、

ムジナ いきなし怒ってこられたら、こっちだって良い気しないじ

ゃん、

マミ 普通に言ったじゃん、

ムジナ 言っていないって、めっちゃ、バーンってきたじゃんなん

か、

マミ ……

ムジナ いやうるさくしたのはごめんだけど、

マミ ……頭いた、

ムジナ …

マミ ほんっと、何時だと思ってるの、てかさ、またミチヨシに餌あげてなかったでしょ、

ムジナ それ、

マミ 水槽の掃除もしてなかったし、

ムジナ だ、…また、そうやって

マミ この間も言ったよね、

ムジナ 自分が勝てる話題に切り替えて、

マミ は？

ムジナ だって今全然違うことで、言ってたのにさあ、その、前の
テンション引きずったまま、

マミ 何？

ムジナ 別の話題にすり替えてさ、自分が勝てる話題に、

マミ …、やそういう問題じゃなくて、

ムジナ いやそういう問題だから、いや悪いけどそれは。…なん

か、俺が、そんな、今のテンションで言われても反省でき
ない

ママ (笑) は？何？

ムジナ 反省できない、

ママ 知らねーよ、赤ちゃんかよ、

ムジナ そっちがじゃん、それは、

ママ ……どうせまだペットショップ連れてってないんでしょ、診てもらわないとって言うってんのに、ずっと、(水槽に向けて)

ねーミチヨシ、ひどいねー、

ムジナ や(笑) 連れてったよ、それは、

ママ ……あそう、いつ？

ムジナ 先週、

ママ ふうん、……えなんだって？

ムジナ ……なんか、腫瘍だって、あの、目のところの、

ママ ……え、

ムジナ ……手術しなきゃだって。病院で、

ママ ……あそう、

間。

ママ ……どうすんの？

ムジナ なんか、病院が、専門で見えてくれるところが大阪にしかない

みたいで、なんか、結構お金も掛かるみたいだから、ま

あ、どうする、

ママ ……いくら？

ムジナ なんか、30万近くとか、

ママ ……ああ、

ムジナ なんか成功するかも微妙らしくて、

ママ ……え、どうすんの？

ムジナ まあだから、相談して決めたいなって。

ママ ……え、病院連れてかないの？

ムジナ や、だからそれは解らないけど、……お互いそんな、余裕あ

るわけではないじゃん、

ママ ……え、本気で言うってんの？

ムジナ ……本気っていうか、あれだけど、

ママ ……最低だね、

ムジナ ……いや、最低って、

ママ 最低でしょだって、

ムジナ ちよっと待って、だって、……なんか大体なっちゃうやつだ

って言うってたよ、その病気、むしろ野生のほうになりやす

いみたい

ママ 悪魔

ムジナ ……は、や、

ママ ……命をさあ、命だよだって、勝手に買ってきてさあ、飽きて

世話とかできとうにやって。それで、見殺しにするんで

しょ結局。人間じゃねーよそんなの、悪魔だ

ムジナ ……

ママ ミチヨシの立場になってみろよ、

ムジナ ……ミチヨシは、解らないんじゃないの？

ママ ……は？

間。

ムジナ、外着にざっくりと着替える。

ママ ……えどこ行くの？

ムジナ ……どっか、

ママ ……そうやって、直ぐ逃げんじゃん、

ムジナ ……

ママ ……ねえ、

ムジナ ……

ママ シカトしないでくんない？

ムジナ、荷物を持ち出ていこうとする。

マミ ちよつと待てよ、ねえ、（肩かなんか掴んで止め、軽い引つ張り合いになる、）動物園どうすんの、

ムジナ （笑）ちよ、知らないよ、

マミ 知らないじゃないでしょ、ちよ、戻って、

ムジナ めんどくさいなあ、

マミ は？何様だよ、戻れよ、一回、（強引に戻そうとする）

ムジナ 、（振りほどくが、マミをフツ飛ばしてしまう）あ、

マミ ……いった、

ムジナ ……（出てく）

マミ おいつ、

ムジナ、いなくなる。

マミ、しばらくたたずむ。

徐にクローゼットの前に行き、中から封筒を取り出す。封筒の中を覗き込む。

元の場所に戻し、寝っ転がる。

水槽の方を見る。

マミ 解らないのかな、

テレビに動物園の映像が映る。動物園を徘徊するムジナの視点。

テロップ『1年前、ムジナが急に買ってきたそのものを「ミチヨシ」と名付けたのはマミの方だった、亡くなったお爺ちゃんの名前らしい。』

タイトルが映る。テレビが消えるとともに暗転。

寝ていたマミが目を覚ます。少しボーっとした後、スマホを見る。

マミ ……寝すぎたあ、

ベッドから降りて電気を点ける。

ミチヨシの水槽が倒れて中の砂が床に散乱している。

マミ （気づいて）うわ、

水槽の中を覗く。ミチヨシがない。

マミ ……（辺りを見回し）ミチヨシー、ミチヨシ、（部屋に対して）きったな、ミチヨシ、ごはんだよー、みっちー、

ムジナが帰って来る。手にはビニール袋。

ムジナ ただいま、

マミ （ムジナが開けたドア）閉めて閉めてっ

ムジナ え？

マミ 閉めて、逃げちゃうから、

ムジナ ？（閉める）

マミ 出てかなかった？今、ミチヨシ、

ムジナ え、脱走？

マミ 出て行っていない？

ムジナ 多分、（倒れた水槽見て）うわ、なにそれ、どうしたの、

マミ やなんか起きたら倒れてて、

ムジナ えー（ビニールを座卓に置く）わ、どう倒れるのそれ、

ママ や、私じゃないからね、普通に寝てて、なんか、ムジナ いないの？

ムジナ、水槽を持ち、座卓の上に置く。

ママ 解んない、探してるんだけど、ムジナ いつから？

ママ わかんない、なんか起きたときに、ムジナ いつ起きたの？

ママ ーなんか、5時間前とか、ムジナ 結構探してんだじゃあ、

ママ 嘘だけど。今さつき起きてムジナ ーあそう、

ママ ーえ、どこいつてたの？

ムジナ 動物園、

ママ ほん、え一人で？

ムジナ うん、

ママ え、ダサ、

ムジナ ーああ、

ママ ーさむ、お腹空いた、

ムジナ あ、(机のビニールを指して) 食べる？これ、

ママ なに？

ムジナ ーお土産

ママ ーありがと、(中身を取り出すとちよつとしたスイーツみたいなもの) ー甘いのが分じやない、

ムジナ あ、はい、冷蔵庫いれとくよ、ー結局食べてないじゃん(元からあったプリンと一緒に部屋の外に持っていく)

ママ、部屋を片付けながら探し始める。

ムジナも戻ってきて探す。

ムジナ 大体いつも、(テレビを調べる) 大体この裏にいるんだよ… あったかいから、

ママ いる？

ムジナ ーいない、

ムジナ、テレビの裏側からゴキブリホイホイを見つけ取り出す。

ムジナ こんなにあったつけ、

ママ ーあー大分前においた

ムジナ この中にいないかな(笑)

ママ 入れる訳ないやん、

ムジナ (覗いて) ーう、ん？

ママ えゴキ？

ムジナ なんか、(ホイホイの屋根の部分を開く)

ママ ちよ、いいよ開けないで、

ムジナ ー見て

ママ いい、いい、ー(ちよつと見て) やーゴキブリ、

ムジナ あとヤモリ、

ママ ーえ、ヤモリ？

ムジナ 珍しい、どつから入ってきたんだろ、

ママ 死んでる？

ムジナ 死んでる、

ママ ーえー可哀想、

ムジナ ゴキブリ食べようとしたのかな

ママ ーえー、(ヤモリに) ごめんねえ

ムジナ ー…どうしよこれ、ごみ箱？

ママ ーんー、埋めよ。外に、

ムジナ ーまいいけど、ゴキブリは？

ママ ああ、一緒にあれして、なんか、お供え物的な感じで、

ムジナ ーはい、え、どうする、今？

マミ ……後で
ムジナ ……はい、

ムジナ、ゴキブリホイホイをたたみ、なんとなく水槽の中に入れておく。

マミ ……あ、そこは？（天袋を指さす）

ムジナ あー、（開くが高くて見えない）…なんか、台とか、

マミ ちよい、

ムジナ え？

マミ 下、しゃがんで、

ムジナ ああ、そういう、（しゃがむ）え、どういく？

マミ （背中乗ろうとする）動かないで、

ムジナ いや、それ、死ぬから、ちよ、肩車にしよ、

マミ えー、おもんな、

ムジナ （肩車する体制になつて）はい、

マミ やだなあ、（乗る）いいよ、

ムジナ あげるね、よ、あ、腰が、やばい、

マミ みつちー？…あああ、

ムジナ どう？ちよ、腰が、

マミ いないね、埃やばいな、これ、ちよつと、（天袋に入ろうとする）

とする）

ムジナ 痛い痛い、ちよ、え、何して、

マミ もうちよい、上、

ムジナ いや、ちよつとつ、え、

マミ、収納の中に入っちゃう。

マミ え、入ちゃった

ムジナ ……すげえ、

ムジナ ……え、どう、いる？

マミ わつかんないなこれ、
ムジナ まあそうでしょうよ、
マミ ……あ、でもね、…いい。

ムジナ いや、

マミ なんかたぬきになった気分。…降りるよー、

ムジナ あ、はい、

マミ、ムジナを使つて降りる。片手に何か握っている

マミ ん、（握っていたどんぐり等の木の実をムジナに渡す）

ムジナ え、何これ、

マミ あつた

ムジナ ……どんぐり？…なんで？

マミ ミチヨシ？

ムジナ ……いや、

マミ ……（探す）どこだー、…あ！仕送りの段ボール狙われてるかも、

マミ、部屋の隅にある段ボールを調べる。ムジナ、木の実をポケツトにしまう。

マミ （段ボールを開けて中身を確認する）…大丈夫、そう、あ

れ、なんかめっちゃ減ってる、お菓子とかレトルトのやつとか、全然ないんだけど、

ムジナ ……あ、その辺、…俺結構、

マミ ……え、食べたの？

ムジナ うん

マミ は？なんで勝手に食べるの？私の仕送りじゃん、…

ムジナ や、賞味期限が、あれだから、

マミ いや、言つてよ、そしたら、信じらんない、あ、やっぱ、キャベツめっちゃ腐ってる、

ムジナ …

マミ あ、でも中は、あ駄目か、ごめんなさい、……わつ、ジャガイモめっちゃ育てる、え、ちよつと見てこれ、

じゃがいもを取り出す。何本かの芽が苗木のように伸びている。

③

ムジナ うわ、気持ち悪、

マミ えー、凄、

ムジナ ちよつとした木じゃんもう、きも、

マミ どうしよこれ、

ムジナ 食べられるのこれ、

マミ いや、駄目だよ、死ぬよ、毒で、

ムジナ え毒あんのこれ、(受け取る)

マミ 知らないの？毒あんだよ芽に

ムジナ へー、え、死ぬの？

マミ 死ぬ。

ムジナ おー(笑)

マミ 一週間もだえ苦しんで死ぬよ、

ムジナ …エグ、いいこと一つもないやん…どうしよこれ、

マミ 捨てる。

ムジナ 植えれば？

マミ 嫌だよ、

ムジナ そつか…(ベッドの淵に座り眺める)

マミ …てか、えー、どこにいるんだろ、(辺りを見回す)

ムジナ …なんか、(じゃがいも掲げて) こういう惑星ありそうじやない？

マミ どういうこと？(じゃがいも眺める)

ムジナ 宇宙に浮いてそう、この状態で

マミ 星の王子さまみたいなの？、これ(芽)がバオバブの木？

ムジナ 星の王子さまって読んだことないな

ムジナ、ジャガイモをどうするか悩んでひとまず水槽の中に入れる。

ベッドの裏からガサガサ物音がする。

ムジナ …今なんか音しなかった？

マミ えした？

ムジナ なんかガサって、

二人、ベッドの周りを探す。

マミ (ベッドの裏を見て) きたな、

ムジナ (ベッドの下に入り) …この辺だと思っただけど、

マミ (何か見つける) ん？

ムジナ あ、いた！逃げた！

マミ いた？(見つけたものの方に氣をとられている)

ムジナ こっちいった！ここだ、

マミ、ベッドの裏からエロ本を取り出す。パラパラ捲る。

ムジナ …ん？あ、え、ネズミだ、(笑) ネズミいた、

マミ …、(何冊も出てくる)

ムジナ あ、行っちゃった、なんか、隙間に入って、(ベッドの下から出て来て、エロ本に気づく) …、

マミ …(ムジナを見る)

ムジナ …、(笑) それねー、(エロ本をとろうとするが避けられ

る)

マミ え何これ、

ムジナ ……まあ、ちよ、貸して

マミ なんでこんないっぱいあるの？

ムジナ (笑) なんか、もらって、

マミ 隠してたの？

ムジナ ……なんか、ね、捨てれば良かったんだけど、

マミ ……(漁るともう一冊出てくる)、

ムジナ (笑) 捨てます、すいません、

マミ ……？(プリングルズの入れ物が出てくる)

ムジナ (焦る) あ、ゴミ、それ、

ムジナ、プリングルズの入れ物をとろうとするが、マミは躲して蓋を開ける。中にはティッシュが詰まってる。

マミ なにこれ、

ムジナ ゴミ、

マミ なんでティッシュ詰まってるの？

ムジナ ……(奪う)

マミ ……待って、(気付いて) え、キモっ

ムジナ いや、鼻かんだやつですよ、

マミ え、最悪、何貯めてんの、キモ、

ムジナ (笑) 鼻かんだやつです、

マミ いや、めっちゃ臭かったもん、うわー最低、

ムジナ いや、

マミ え、なんなの、コレクションしてるの？

ムジナ (笑) 違、めんどくさいから、

マミ 信じらんない、最低、

ムジナ だ、…鼻かんだティッシュと同じだから、同じようなも

マミ は？

ムジナ だから、鼻かんだ、や、もういいや、

マミ ……いやなに言ってるの？

ムジナ ……もういいじゃん、ごめんって、(残りのエロ本指し

て) 返して、捨てるから、

マミ だめ、

ムジナ ……は？

マミ え、なんで？

ムジナ だからいいでしょう、

マミ 良くない、なにこれ、意味わからん、(読みだす) 化け物じ

ゃんこんな…え、まじでなんでこんないっぱいあんの？マ

ジで、てか未だエロ本なの？どこで売ってるの今、

ムジナ もういいじゃんこれは、(エロ本回収して自分のバックに詰め込む)

マミ え、どうすんのそれ、

ムジナ 捨てるよ後で

マミ またどつか隠すんでしょ、

ムジナ (笑) 隠さねーよ、

マミ ……

ムジナ ……ミチヨシ探そ、ほら、

マミ ……お腹空いた、

ムジナ ……

マミ ……え、お腹空いてる？

ムジナ いや、

マミ ……なんかあったつけ、(仕送りの段ボール見て) ねーんだなん

も、

ムジナ ……

マミ ……ちよつとコンビニ行ってくる、

ムジナ あ、俺行つてこようか？

マミ いい、

ムジナ あ、はい、

マミ なんかいる？

ムジナ 大丈夫、

マミ、ミチヨシが逃げないように警戒しながら出ていく。

ムジナ …

④

ムジナ、マミがいなくなったのを確認すると、隠してあつた残りのプリングルズのケース（4本くらい）をバックに詰め込む。そしてベッドに寝っ転がる。最初スマホを弄っているが、止めて天井を見つめてぼーっとする。

突然クローゼットから物音がする。ムジナ、クローゼットを開けて中を探す。

ムジナ ミチヨシ？…

ムジナ、クローゼットの中でミチヨシを見つける。（クローゼットの位置的に客からミチヨシは見えない）

ムジナ ミチヨシ、ミチヨシ、おいで、ミチヨシ、

クローゼットの中からミチヨシの声がする。

ミチヨシ こんにちはわ

ムジナ …、

ミチヨシ こんにちはわ

ムジナ …こんにちはわ

ミチヨシ 元気かい？…元気でもないみたいだね。
ムジナ …そっちは？

ミチヨシ 良くないね。知ってるだろう？右目の上にできた腫瘍で目が殆ど開けない。

ムジナ …ごめん

ミチヨシ どうして謝るんだい？

ムジナ …

ミチヨシ …君と僕が圧倒的に違うところを教えてあげようか。僕にはね、君が大切にしている、青春という概念がないんだ。

ムジナ …そっか、なにかしてほしいことはある？

ミチヨシ そうだなあ。交尾つてやつがしてみたいなあ僕は。

ムジナ …俺じゃあ叶えてやれないね。

ミチヨシ …そんなことよりさ、君は僕に言っしてほしいことがあるんだらう？

ムジナ …言っしてほしいこと、

ミチヨシ だから僕の声なんか聞こえてるんだらう？

ムジナ 言っしてほしいこと、

ミチヨシ 何をとぼけているんだい。…君は、僕に、言っほしいことがあるんだらう？

ムジナ …

ミチヨシ …君は、僕に、言っしてほしいことがあるんだらう？

ムジナ …

ミチヨシ …君は、僕に、思っしてほしいことがあるんだらう？

ミチヨシ、同じ言葉をずっと繰り返す。段々、色んな動物の鳴き声が混ざる。

ムジナ …ミチヨシ、おいで。帰ろ。ミチヨシ、

ムジナ、クローゼットの中に手を伸ばす。ミチヨシに噛まれる

ムジナ いって！（手を引つ込める）いった、っ、っ、つー、ミチヨシ、ほら、…ごめんって。ごめん、ほら、（また噛む。噛んだまま離さない）いたたたたっ、痛い痛い、ちよ、いた、はな、ちよ、ちぎれるちぎれる、いたあ、ちよ、おい、

クローゼットの中でミチヨシを振り払おうとして、どこかに叩き付けてしまう。大きな音がする。ミチヨシの声と動物たちの鳴き声が止む。

ムジナ ……ミチヨシ？（ミチヨシ動かない）…やっぱ、嘘、やっちやった、え、

ムジナ、クローゼットの中でごちゃごちゃやってるうちにママが隠した封筒を見つける。ママが帰ってくる音。ムジナ、咄嗟にクローゼットの中に隠れる。

⑤

ママ、帰って来る。コンビニ袋を持っている。

ママ （ゆっくり襖を開ける）ただいま、

ママ、コンビニ袋から袋に入ったサラダを取り出す。袋を開けてその中にドレッシングを直接かけて食べる。

少ししてからムジナ、出てくる。

ママ ……なんで？（そこから出てきたの？）

ムジナ ……なんか、（封筒を出す）、ママ ……

間。

ママ、サラダを食べる。

ムジナ ……エコー写真？

ママ ……うん、ムジナ ……ああ、

間。

ムジナ ……え、妊娠してる、感じ、ですか？

ママ ……うん

ムジナ ……あー、

間。

ムジナ いや、ごめん、なんか、違くて。びっくりして、初めて

だから、なんか、なんて言っていないか、いや、だから、あのー、別に、さっきの間は、後ろ向きの間ではないっていうか、……あー何言ってるんだろ、ごめん、テンパっちゃって、え、でも、いつ、だろうね、あれ、付けてたもんね、俺、……いいかそんなこと、えー、

ママ ……

間。

ムジナ ……うん、でもやっぱ付けてたよね俺、あれ、付け、

てたよな、うん、絶対、付けないで、ってことは、な

いよな、うん、そこは、ちゃんとしてた、付けてた、え、ね？

ママ…

ムジナ…

ママ…

ムジナ…ごめん、え、付けてたよね、

ママ 付けてたようっさいなあ、

ムジナ だよな、ごめん、だよな、え、じゃあ、どういう、

ママ…解らない、

ムジナ…

ママ 他の人じゃないからね、

ムジナ…いや、そうよね、

ママ…

ムジナ…

ママ 疑ってるでしょ、

ムジナ いや、それはない、けど、なんでかなって、

ママ…知らないけど、付けてても、そういうこともあるって。

ムジナ…まあ、そっか、

ママ…

ムジナ え、いつ頃、？

ママ…何が？

ムジナ…、そ、できたの、っていうか、

ママ…3カ月前位、だと、

ムジナ…、(なんか計算している) ああ、

ママ…

ムジナ…(笑)、ごめん

ママ 何笑ってるの？

ムジナ いや、なんか、ごめん、びっくりして、そっか、

ごめん、ふー、そっか、えー、え、両親は、

ママ…(首を横に振る)

ムジナ…

ママ…

ムジナ…そっかあ、そうだよなあ、んー、ごめんね、ちょっと、選択肢を、言い方あれだけど、選択肢を整理してお

きたいんだけど、ごめんね、墮胎みたいなことって、3カ月って、どう、いや、そうしたいって訳じゃなくて、一旦選択肢を、

ママ うん、ていうか、もう、降ろした、

ムジナ…何、

ママ…

ムジナ…

間。

ママ、サラダをガツガツ食べながら話す。

ムジナ…ああ、

ママ…ごめん、勝手に、あれして、

ムジナ…え、もう、？

ママ うん、

ムジナ いつ？

ママ 先週、…友達の家泊まった日あったじゃん、その時、

ムジナ…ああ、

ママ…うん、

ムジナ 手術、

ママ うん

ムジナ…あそ う、…なんか、ちょっと整理ができてない、

ママ ごめん突然、言わないつもりだったから、

ムジナ…それは、なんで、

ママ…んー、

ムジナ え、誰にも？

ママ 友達にだけ、その子も、経験あったから、

ムジナ ……ああ、で、なんで、言わなかった、ていうか、
ママ ……ムジナくんに言ってもしょうがないと思って、

間。

ムジナ ……え、なんで？

ママ ……だって、…無理でしょ？

ムジナ 何が？

ママ 何が（笑）、無理じゃん、そんな、余裕ないじゃんそんな、

ムジナ ……やでも、相談ぐらいするだろ普通、

ママ したって、結果出てんだから、

ムジナ ……いやいや、

ママ え、何？生んでほしかったの？

ムジナ や、解んないけど、

ママ ……なんなの？私が悪いみたいじゃん、

ムジナ ……

サラダを頬張る。

ママ 私が、どんな思いしたかさ、

ムジナ ……

間。

ムジナ ……実家で飼ってた犬が、子ども生むとき。…馬鹿犬だったけど、ずっと子どものままみたいな犬だったけど、妊娠して、で、子どもが股の下から出て来た瞬間、ぱって動いて、胎盤を噛みちぎって、赤ちゃんのことへろへろ舐め出して、教わったわけでもないのに、一瞬で母親になっちゃって、俺それまでその犬見下してたのに、一気に、俺

より大人だって、思ってた。

ママ ……それ母犬の話でしょ

ムジナ や、だから、なんていうか、そりや大変なことかもだけど、子ども生むってさ、自然なことなんじゃないのかな、動物として、

ママ 動物じゃないから（笑）、人間だから、

ムジナ ……

間。

ムジナ ……でも、話してくれるくらい良かったじゃん、

ママ ……だから、困らせるだけだと思ったから、

ムジナ ……

ママ でもさ、ムジナくんミチヨシ飼う時なんて言ったか覚えてる？子どもの代わりって言ったよね、冗談だろうけどさ、

ムジナ ……

ムジナ、クローゼットをチラつと見る。

ママ ……や、ごめん…私の問題だわ、

ムジナ ……いや、…あ、お金とかは、

ママ 思ったよりかからなかった、

ムジナ ……俺払うよ、

ママ いや、私が勝手にやったことだから、

ムジナ いや、

ママ てかないでしょそんなに、

ムジナ ……いくら

ママ ……30万くらいじゃない。なんかさ、もうちょつと、ちゃんとしたいね、私たち、

ムジナ ……（襖の方へ行く）

ママ どこ行くの

ムジナ トイレ、

ムジナ、出ていく。マミ、ぼーっとする。

⑥

マミ、テレビを付ける。動物園の猿山の映像。雨が降ってる。少しそれを眺め、ふいに傘を取り出し、さして、ベッドの上に立つ。ムジナも傘をさしながら戻ってきてベッドに立つ。二人は動物園にいるテイで猿山（映像）を眺めてる。

ムジナ、手に紙コップを持っている。コップの中身の餌をつまみ、猿山に向かって投げる。（画面にぶつかって跳ね返る）

ムジナ …あ、変なところしちゃった…（もう一回投げる）…お、

あ食った

マミ …あっち、あっち投げて、

ムジナ あー、とどくかな、（投げる）あ、駄目だ

マミ 下っ手、

ムジナ …やってみ

マミ …（やるが全然だめ）

ムジナ …、

マミ、（なんかムカついてムジナを叩く）

ムジナ いった、…え、あいつにあげたいの？

マミ なんかずっと端っこにいるから

ムジナ …

ムジナ、投げる。が、とどかない。何度かチャレンジする。

「とどけ」と呟きながら投げ続ける。マミも時々横から餌をとり、

投げる。雨の音は段々強くなる。

ムジナ ……全部あいつにとられるな、

マミ あれボス猿だよ

ムジナ なんで解んの？

マミ 書いてある。看板、

ムジナ あ、ほんとだ、……人間もボス猿みたいな男がモテるらしいですよ、

マミ そうなんですか、

ムジナ もう、本能的に、女性はボス猿みたいなタイプの男に惹かれるんですって。

マミ ボス猿みたいなタイプの男、ムジナ だから一途な、こう、一人の女性に命捧げるって男ほどモ

テないんですって。自分のDNAは弱いですって言うてる様なもんなんですって。

マミ …全然嫌だけどな、

ムジナ …あなた元カレめっちゃそういう系じゃん、ボス猿じゃん、

マミ ……なんで男ってすぐ浮気すんの？

ムジナ もうだから、本能なんです、それも。遺伝子を沢山残した

いつていう…逆に女性は、なんか、子供産んで育てるのに時間かかるから、決めた雄にだけ欲情するんだって。本能的に。人間って一人じゃ子ども生んだり育てたりできない

から、一人の男に、自分の方を向けさせておかなきゃなんだって。

だつて。

マミ …なんか嫌なんですけど、

ムジナ …まあ本能だからね、

マミ なんでそんな詳しいの？

ムジナ …なんか、モテる方法を、生物学的に調べた、

マミ ……ムジナくんってさ、子ども欲しいとか思うの？

ムジナ …うーん、…俺でも子ども見ると Dank シュートしたく

なつちやうんだよね、

マミ は？

ムジナ (マイムで) こう…こう…、バーンって、

マミ …それは、本能で言うかどうかのことなの？

ムジナ …わかんない、

マミ 子どもが欲しくないって、本能で言うかどうかのことなんですか、

ムジナ …あー、

間。

マミ あ、今見てるな。

ムジナ …は？

マミ なんか今、未来の自分が、このどうでもいい会話のころ
…と思いついてる気がする…

ムジナ …ん、なにに、

マミ こういうどうでもいいのって無駄に覚えてるじゃん

ムジナ …あーたしかに

マミ …ここにさ、私達が展示されてたら、なんて紹介されるんだろうね、

ムジナ ああ…：えー、二人は、二匹、二頭、二つ、二人、

は、サル目ヒト科ヒト属。学名、ホモサピエンスサピエンス。の、マミちゃん、雌。ムジナくん、雄。は、一緒に住んでいて、小さな小さなアパートの一室で、共棲して、仲は、良いのか悪いのかわかりません。でも、住んでて。雌の方はしょっちゅう機嫌が悪くて、雄の方に罵声と雑言を浴びせます。

マミ …そういう時雄は甘いものを買ってきます。それで済むと思つてます。バカです。なんでもやりっぱです。トイレの電気を絶対に消しません。あほです。人というより獣の類です。

ムジナ …マミは煙草を吸います。ばっかばっか吸います。辞める

辞める言つてやめません。煙草とアイスを交互に吸ったり食べたりする時もあります。もう意味が解りません。

マミ、パンチする。

ムジナ こういうことします。こういうこと直ぐします。

マミ、

間。

マミ …二人は、なんで二人でいるんでしょうか。離れた方が楽なんじゃないでしょうか。…そこに理由なんてありません。なぜなら今のこれは、最初から、二人で始まったことだからです。

ムジナ、紙コップの中身をつい食べる。

マミ え、何食つてんの、

ムジナ あ、食べちゃった、

マミ いやいや、

ムジナ、去る。マミ、傘を閉じてテレビを消す。少しぼーっとする。

⑦

マミ、ミチヨシを探し始める。

ムジナ戻ってくる。

ムジナ …

マミ … (探す)

ムジナ … いたわ、ミチヨシ

マミ え、外？

ムジナ …

間。

マミ え、何？

ムジナ …

マミ 何、

ムジナ … そんなかにいたんだけど、バーンってやつちゃって、

や、噛まれて、めっちゃ、指千切れるかって、それで、

バーンって、

マミ … え、それで？

ムジナ …

マミ、クローゼットの前に来る。

マミ … え、ここ？

ムジナ うん、

マミ、恐る恐るクローゼットを開ける。が、ミチヨシはいない。

マミ … (中を探す) どこ？

ムジナ … (ムジナも来て中を見る) あれ？ (探す) あれ、なん

で？え、

マミ え、どの辺で？

ムジナ いや、ここに…あれ、

ムジナ、ほかのところを探しだす。マミも探す。

二人で名前を呼びながら探す。

ムジナ、自分のリュックをひっくり返す。大量のプリングルズが出てくる。

マミはベッドのマットレスをひっくり返したり、タンスから洋服を放り出したり。ムジナはプリングルズの中身のテッイシュをぶちまけたり。部屋がぐちゃぐちゃになる。

それでも見つからない。二人、途方に暮れる。

その時、天袋の中から物音がする。二人、素早く肩車の体制になり、マミは中を覗く。

マミ … あ！

ムジナ いた？

マミ … いや、え、

ムジナ え、なに、

マミ … リスだ、

ムジナ え、

マミ リス、が三匹、

ムジナ え、そんないるの、

マミ … 一匹子どもっぽい

ムジナ え、見たい、

マミ … … なんか探してる…あ、ねえ、さっきの、

ムジナ え？…ああ、

ムジナ、ポケットから木の実を取り出し、マミに渡す。マミ、リ
スに向けて投げる。

マミ … 拾った。…食べてる、

ムジナ …ちよつと代わつて、
マミ …

ムジナ …マミさん？

マミ …私達つて、動物の資格あるのかなあ、

ムジナ …

マミ 私たちつて生きてる資格あるのかな……私がなんとなく置いて、置いたのすら忘れてたゴキブリホイホイにヤモリは殺されてたよ、

ムジナ ……

マミ …あ、行っちゃった、

ムジナ え、どこに、

マミ なんか、穴の中、

ムジナ 穴？

マミ、脚立を降り、窓を開けてリスの行方を確認する。

マミ （屋根の方を覗いて） あ、そこ、

ムジナ どこどこ、

マミ 行っちゃった、

ムジナ えー

マミ、なんとなく外を眺める。建物の下にミチヨシを見つける。

マミ あー！、ミチヨシ！

ムジナ え、あ！ミチヨシ、

二人の頭の中に響くようにミチヨシの声が聞こえる。

ミチヨシ …動物を見よ。動物をよく見よ。ただの動物を。

…じゃあ、またどこかで。

マミ …え、うわっ！え、ミチヨシの群れだ！
ムジナ うわー！え、めっちゃいる！
マミ すごい、なんで？

ムジナ すごい（笑） …うわ！集まってきた！

マミ えー（笑） すごい

ムジナ やべえ（笑）

マミ ……あ、ミチヨシ行っちゃう、

ムジナ ……あ、行っちゃう、ミチヨシー！…行っちゃった、

間。

二人、暫く外を見ている。

ムジナ …あ、最近増えてるってニュースになってた。北海道から

海渡つて、関東の方まで下ってきてるみたいなの。…畑荒ら

しまくつてて…

マミ …間違つてばっかだね、私たち

ムジナ …あのさ、ヤモリ埋める時、一緒にじやがいもも埋めてみ

ようか

マミ …なんで？

ムジナ なんか、養分で、育つかなって。

マミ …、あれ育つと花咲くんだよ

ムジナ え、花咲くの？あれ、

マミ うん、

ムジナ へー、

幕。